

◆ Professor に聞きました



宮内 昭

医療法人 神甲会 隈病院 院長

略 歴

- 1970 年（昭和 45 年）大阪大学医学部卒業。
- 1978 年 医学博士。
- 1979 年 大阪大学医学部第二外科助手。
- 1979 年 University of Wisconsin へ留学。
- 1981 年 香川医科大学第二外科講師。
- 1986 年 同助教授。
- 1998 年 隈病院副院長。
- 2001 年 同病院長。現在に至る。
- 2009 年～ Council of International Association of Endocrine Surgeons.
- 2012 年～ Chairman of Asian Association of Endocrine Surgeons.
- 受 賞： 1985 年日本内分泌学会甲状腺分科会七条賞、2007 年日本甲状腺学会三宅賞、2008 年日本内分泌学会 Best Endocrine Surgeon of the Year 賞。

内分泌外科領域のアピールポイント

内分泌外科は外科学だけではなく、内分泌学、骨代謝、免疫学、核医学、そして音声喉頭機能と非常に広い領域の知識を必要とする領域である。さらに既に分子標的薬を中心とする臨床腫瘍学の知識も必要となろうとしている。内分泌外科医は、これらの知識に基づき、手術に当たっては、切除、郭清、温存と移植・再建を適切に行う事が求められる。正に**科学的芸術**の領域である。

今回の“Meet the Professor”でお話しされたいこと

上述の外科学、内分泌学、骨代謝、免疫学、核医学、そして音声喉頭機能について系統的な知識を科学的に理解すること、実際の臨床に当たっては、その結果を科学的に評価すること、知識と結果・データに食い違いが生じた場合にどのように対応すべきか、この**食い違い・不一致にこそ重要な新しい真実が隠れている**可能性があることお話ししたい。また、仮説を立てて臨床研究を行うことは大いに推奨される。しかし、仮説が正しいことを証明するのではなく、**仮説が正しいかどうか検証する**ことが重要である。

趣 味

テニス（永久的初中級）、山歩き。